



年2回、男女共同参画にまつわる新鮮ネタをお届け！

男女共同参画ニュース

vol.11 ～誰も取り残されない防災の備えについて考えよう～

男女共同参画社会とは、性別に関わらず誰もがあらゆる分野で活躍する機会を平等に持ち、対等な立場で意思決定の場に参加し、責任を分かち合う社会のことです。

今回は、仕事と子育てをしながら、さらには自身で防災に関する市民活動団体を立ち上げ、市内の防災・減災意識の普及啓発に取り組んでいる「そなえるネットワークみうら」代表 永井 文子さんをご紹介します。



さんかくインタビュー

ながい あやこ
永井 文子 さん

仕事、子育て、市民活動と毎日大忙しな永井さんに、団体を立ち上げたきっかけや、誰もが取り残されない防災の備えについて、話を聞いてみました。

ホームページでもっと詳しいインタビューを掲載しています。ぜひご覧ください！



Q！ そなえるネットワークみうらを立ち上げたきっかけは？

大学生の時、災害ボランティアで東日本大震災の被災地に行ったことで防災のことを勉強するようになりました。それから職場で防災担当になったことをきっかけに「職場の中での防災の課題を解決したい」みたいな思いが強くなったんですけど、どうも職場だけで考えても問題解決には至らず、やっぱり地域にも目を向けなきゃいけないんだなというのを、ふと思って。

それから2年くらい経って、一人目を妊娠中に起業を学ぶ講座に参加して、自分でどんな団体を立ち上げようかと考えたとき、同じ三浦市で生活する人たちが、自分の地域でどんな災害が起きる可能性があるのかを知ってもらうことで、少しでも安心して住み続けてもらえるようになったらいいなという気持ちで、「そなえるネットワークみうら」を立ち上げました。

実際は起業には至っていませんが、現在は防災に関しての普及啓発を中心に活動をしています。

Q！ そなえるネットワークみうらが目指す防災とは？

普段の生活の中には、女性男性ということ以外にも、心身に障がいがあるだとか、集団生活するのはちょっと難しいお子さんとか、いろんな配慮を必要とする方がいると思うんです。

そこで大事になってくるのは、災害が起きたときに、必要な備えは人それぞれ違うということ。

そなえるネットワークみうらは、一人ひとりが「自分に必要な備えはなんなのか」を考えてもらうということに重きを置いて活動をしています。

まずは自分の住んでいる地域の地理などの正しい情報を知った上で、そこから個人の備えにつなげてもらう。その地域の災害の危険性について知った上で、自分の体調だったり、普段の生活様式だったりを見返して、個人としてはこういう備えが必要だとか、災害が起きたら避難所に行くべきなのかとか。避難所は必ず行かなきゃいけないわけでは決してなくて、家が安全であれば、おうちで生活してもいいし、むしろそのための備えをしたほうがいいんだとか、逆に家は危ないからやっぱり避難所に行かなきゃいけないんだとか、そういう判断っていうのも自分が生活している地域の情報をあらかじめ知っていることによって、普段から考えておくことができるんです。そういった一人ひとりが、必要な備えを考えられるような後押しをしていきたいという思いで活動をしています。

Q！ 「男女共同参画」という考え方についてどう思いますか？

私自身は、小さなころから特に「女だから」どうとかとあんまり言われた記憶もなく、「男女共同参画」という言葉は正直あんまりピンときていないところもあるのですが、改めて思い返すと、この活動を続ける中で「女性がトップをやっている」とか、女性が中心になって何かしていることに対して抵抗を感じる人はまだまだいらっしゃるのだなと感じたことはありました。また、地域の集まりなどで女性が発言できないという話も聞いたことがあります。

そういった「女性だから」何かできないような場面がいまだにあるのだとしたら、そこは意識的に変えていかないといけない部分なのかなと思います。

そなえるネットワークみうらでは、昨年12月から「防災・減災勉強会」を開催しています。この勉強会では、三浦半島の地理・地形を踏まえながら自然災害に関する基本と最新の科学的知見から見えるリスクを認識し、一人ひとりの備えを見直し、そして地域の備えへと結びつけることを目的としています。約1年間を通して計6回の開催を予定しています。

今後の講座日程は決まり次第お知らせしますので、講座情報を希望する方は「氏名」と「防災講座案内希望」の旨をメール送信してください。

Eメール：sonaeru.miura@gmail.com

さいごに、読者へメッセージをお願いします！

今回紹介していただけることで、私みたいな小さな子どもがいる人でも、やりたいことがあればやってもいいんだな、挑戦してみてもいいんだな、と思ってもらえればうれしかーなと思います。

#男女共同参画 #三浦で夢
#かなえよう #みんなハッピー
#ひとりひとりが
#おたがいに尊重し
#幸せに暮らせる社会

三浦 男女キャンペーン 検索

問合せ 市民協働課 (☎内線315)